

資 料 提 供

平成30年10月26日

石川県立看護大学

石川県初「農福連携いしかわ型ヒツジ飼育事業」  
ヒツジの毛刈り体験会の開催

1 本事業の背景

畜産の現場では高齢化の進展により「働き手がない」ことが深刻な問題となっている。一方、障害者福祉においては「働きたくても働く場が見つからない」「働いても賃金が低い」という状況にある。こうした「人手が足りない農業」と「働く場の確保と賃金の向上を求める福祉」が結びつき双方の課題の解決につなげる糸口が「農福連携」である。

2 本事業の趣旨

就労支援を行っている事業所の利用者を対象に、就労に対する意欲の向上や、認知機能面、身体機能面、心理社会面の強化を図ることを目的に、ヒツジの餌やり・肥出し（糞だし）・餌作りなどを通じた畜産業体験を5か月間（6～10月）を実施し、就労支援活動内容に組み込んできた。同事業所ではビール製造残渣物（ビール粕）を加工しており、試験的にヒツジの餌として使用した。

3 ヒツジの毛刈り体験会の概要

日 時：平成30年10月30日（火）13：30～

場 所：日本海倶楽部ザ・ファーム（鳳珠郡能登町字立壁92番地）

内 容：ビールサイレージで飼育した子羊6頭の毛刈り体験会

参加者：能登町立松波小学校児童（低学年）・保育園児 約30～50名

主 催：石川県立看護大学・石川県立大学 農福連携型石川ラムプロジェクト  
代表 清水 暢子（石川県立看護大学 講師）

協 賛：日本海倶楽部ザ・ファーム（就労継続支援B型）

石川県立看護大学附属地域ケア総合センター

三谷研究開発支援財団

石川県立看護大学

精神看護学講座 講師 清水

TEL 076-281-8300（代）